

農業センター土づくり通信

第11号(発行:令和5年9月)【発行】旭川市農業センター

～ 土壌診断のススメ ～

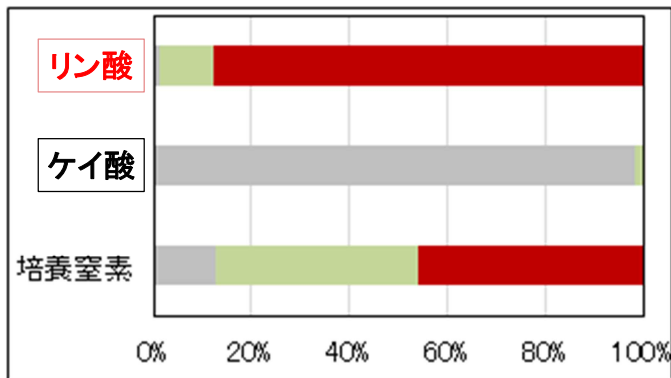
昨今の世界情勢等の影響を受け、国内の肥料価格は依然として高止まりしています。値上がりの影響を少しでも抑えつつ生産性を保つために、**土壌診断**を行いましょ。

市内ほ場の土壌養分の傾向

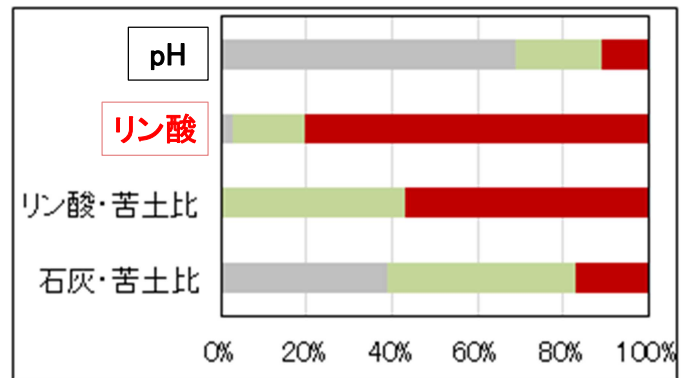
令和4年度の土壌分析値(農協申請分)から、基準値に対する過不足の割合を示します。

■ 基準値より低いほ場 ■ 基準値内のほ場 ■ 基準値より高いほ場

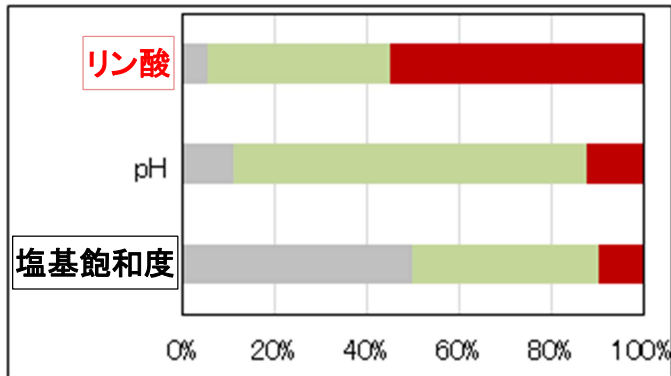
水稲(本田)



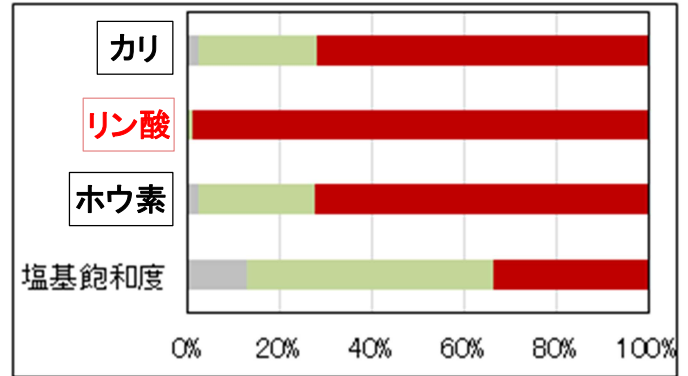
水稲(育苗床土)



畑作



野菜(ハウス)



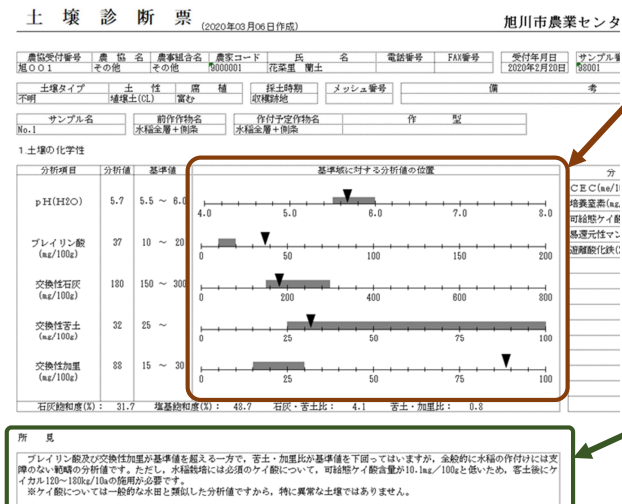
- 「リン酸」は多くのほ場で基準値を超えて蓄積しています。
- 水稲(本田)の「ケイ酸」は、ほとんどのほ場で不足しています。
- 水稲(育苗床土)の「pH」は、7割近いほ場が基準値より低い状態です。また、苗の異常褐変防止のため「リン酸・苦土比」「石灰・苦土比」を適正域で管理することにも注意しましょう。
- 畑作では「塩基飽和度」が低めのほ場が多く見られます。塩基飽和度が低いと「pH」が低下しやすい傾向があると同時に、**収量性に影響**する場合もあり、適正域で管理することが重要です。
- 野菜(ハウス)では「カリ」「ホウ素」が多くのほ場で基準値を超過しています。過剰な蓄積により養分バランスが崩れた場合、作物の生育への影響も懸念されるため、注意が必要です。

土壌診断によって、施肥量の過不足を見極める → 適正施肥の取組

- 土壌診断に基づき、不足している養分は施肥により補給します。一方で、基準値を超えている養分は減肥できる場合があるので、肥料銘柄の選定や施肥量の加減を検討してみましょう。
(例)・「カリ」と「リン酸」が過剰の場合 → 単肥配合又はカリ・リン酸含有率の低い肥料を選ぶ
・「ホウ素」が過剰の場合 → ホウ素やFTEを含まない肥料を選ぶ
- これら「**適正施肥**」を通じて、コスト低減を図りましょう。

～ 農業センターの土壌診断の紹介 ～

農業センター「土壌診断票」の特長



<特長1>ほ場状態を一目で把握できる
肥料成分等の基準値に対する過不足を、視覚的に把握することができます。

<特長2>施肥対応に役立つアドバイス
上川農業改良普及センターが、分析結果に基づく施肥対応を、分かりやすくアドバイスします。

- 土壌診断を行う頻度は、**ハウスでは毎年、露地では3~4年に1回**が目安です。
- 肥料選びの際は、過去の診断結果を参考にできます。ただし、その後大幅に減肥した場合や、有機物を多量に施用した場合など、改めて土壌診断を実施する方が良い場合もあります。
- 土壌診断票の内容については、毎年1~3月頃に各地区のJAが開催する施肥相談会において、日頃の営農上の疑問等を含めて、普及員に直接相談することができます。
- なお、「**野菜・花き**」に係る相談は **農業センターでも対応可能** です。お気軽にお問い合わせください。

分析手数料

農業者は、より詳しい「**総合分析**」がオススメ!

- **総合分析(営農を想定した、化学性に関する総合的な分析)** 1,170 円
- **一般分析(家庭菜園を想定した、必要最小限の項目を分析)** 700 円

申込先

【地区別の各農協窓口に応じ込む場合】

農協及び地区名	受付窓口	所在地	電話番号
JA あさひかわ			
神楽・神居地区	神居資材センター	神居1条10丁目3-7	61-4475
永山地区	永山資材センター	永山1条19丁目3-5	48-9600
旭正地区	旭正資材センター	東旭川町旭正36-2	31-0044
JA たいせつ(東鷹栖地区)	本所営農センター	東鷹栖1条3丁目635-100	57-2357
JA 東神楽(西神楽地区)	西神楽営農センター	西神楽南1条2丁目639	75-4214
JA 東旭川	本所営農販売課	東旭川南1条5丁目8-22	36-2115

【農業センターに直接申し込む場合】

旭川市農業センター (所在地:旭川市神居町雨紛 Tel:61-0211)

※ 野菜・花きの栽培に関する相談・施肥指導等にも応じています。皆様の御利用をお待ちしています。